

バドミントン女子団体で衣川中が 41 年ぶりに優勝

栄冠を手にした選手の横顔

—— 第 64 回 県中学校総合体育大会 ——

県中学校体育連盟の主催で、7月15日から18日までの4日間にわたり行われた「第64回県中学校総合体育大会」。市内中学校から多くの選手が入賞しました。今回は、県大会で優勝した選手の皆さんが語ってくれた、大会を振り返っての思いや今後の抱負などを紹介します。



部員全員で栄冠を手にした衣川中女子バドミントン部



年間を通じて人気のタルトは、季節で中身を変えることも

ピーマンまんじゅうや焼石太鼓などの銘菓で知られる胆沢区のみかん菓子店。直也さんはその2代目だ。「小学生のころから跡を継ぐことを考えていた。文集に2代目社長になると書いていた」と振り返る直也さん。仙台市で修行し、22歳で店に入る。洋菓子が担当で、誕生日ケーキなどが好評だ。

菓子職人のほかに演劇人としての顔も持ち、多数の劇に出演する。なかでも奥州胆沢劇場は「ここで演出助手を経験したことで、演劇の面白さに目覚めた」という思い出の劇場で、20回以上の出演のほか演出を担当したこともある。この劇場とのつながりからお菓子も生まれた。「しゅうあん」というシューにあんこが入った菓子は自身が演じた秀安という役名がきっかけ。その好評を受けて生まれた「ふわふわいちご」は、奥州胆沢劇場が初販売の場となった。病氣療養のため、いま演劇は一休み中。それでも「お菓子も演技も待ってくれる人がいるので恩返ししたい」と誓う直也さんの情熱は尽きない。

お菓子和演技を通じて
伝えたいものがある

小野寺直也さん（47歳）
胆沢区南都田字国分

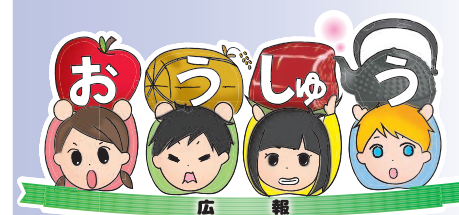


おのでら・なおや◎昭和47年、奥州市胆沢区生まれ。いさわジュニアミュージカル、奥州市民劇など出演多数。劇団我夢所屬。自身の病氣についてブログで発信し、検診の大切さを訴える。6人家族。

〈今月の表紙〉



3人1組で事務椅子をたすきに駆け巡る2時間の耐久レース「いすー1 GP 奥州えさし大会」が7月1日、江刺区中町商店街特設コースで開催されました。参加した27チームは炎天下の中、体力の限界を感じながらも声援に後押しされ、見事完走を果たしました。優勝した「文秀堂・五郎不動産・夢追座チーム」は、コーナーを回るたびにゼッケンナンバー「1」をアピール。周回数をカウントする高校生スタッフを楽しませ、沿道の声援に応える姿も「No.1」でした。



広報おうしゅう
Public Relations Magazine
Oshu City
Vol.138
2017

8

CONTENTS

- キラリ輝く奥州人
- 【特集】栄冠を手にした選手の横顔 —第64回県中学校総合体育大会—
- 市介護相談員を募集します
市観光施設等民間経営手法活用
市場調査を実施します
東稲山麓地域の世界農業遺産
認定に向けて
- 食中毒にご用心！
保健だより
- マイナポータルの試行運用が
スタート
- 思いをカタチに 地域づくりの輪
- 空家の適切な管理は所有者の
責務です
- I L C希望のひかり
- まちの話題
- 市政ブームイン
- 夢トーク
青春讃歌
- 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- トマス・アンナの あんなこと
こんなこと
姉妹都市 掛川だより
- 情報あらかると
- 奥州遺産

地域の個性が
ひかり輝く
自治と協働のまち
奥州市